

●事業内容

1. たたら製鉄の歴史と技術を保存、公開、実践することで日本の鉄文化を保護継承していく活動
(公益目的事業)

1) 講演会の実施

鉄の歴史文化、歴史資料の研究結果公開のため、次の事業を実施した。

①鉄の歴史村フォーラム 2018

テーマ： 鍛冶 革新は連鎖する

期 日： 平成 30 年 12 月 9 日 (日)

場 所： 吉田健康福祉センター2 階 (雲南市吉田町)

内 容： 基調講演、ミニライブ、ディスカッション

講 師： 永田和宏 (東京工業大学名誉教授・当事業団理事)

北田正弘 (東京藝術大学名誉教授)

齋藤貴之 (北海道武蔵女子短期大学)

パネラー/ミニライブ： jubilee jubilee

参加者： 64 名

参加料： 無料

②博物館講座

雲南たたらナイト

目 的： たたら文化に対する興味・関心を把握するため、座談会形式でさまざまなたたらに関する話題を拾い上げ、たたらの活動の可能性を探る。

内 容： 第 1 回「オロチ・ザムライ・タタラ」

日時； 5 月 12 日 (土) 19：00～

場所；温泉交流センター

参加；13 名

第 2 回「古代製鉄と熊谷軍団」

日時；6 月 9 日 (土) 19：00～

場所；下熊谷交流センター

参加；11 名

第 3 回「出雲風土記とたたら」

日時；7 月 21 日 (土) 19：00～

場所；波多交流センター

参加；12 名

第 4 回「山内むかしむかし」

日時；8 月 11 日 (土) 19：00～

場所；菅谷たたら山内元小屋

参加；12 名

第 5 回「神と仏の雲南史」

日時；11 月 25 日 (日) 13：30～

場所；久野交流センター

参加；25 名

第 6 回「雲南市と山林・鉱山資源」

日時；3 月 16 日 (土) 19：00～

場所；加茂交流センター

参加；3 名

2) 体験事業

鉄文化を育んだ地域を知り、後世に伝承する人材を育成するため、次の事業を実施した。

①ものづくり大学

1. たたら操業体験の実施

場 所： 和鋼生産研究開発施設

実施日： 5 月 19 日 (土) ～23 日 (水)

10月17日(水)～21日(日)

参加者： 31名

2. 小たたら操業体験

場 所： 和鋼生産研究開発施設

期 間： 平成30年9月～平成31年2月

参加者： 2組

体験料： 120,000円/回

3. 鍛冶体験

ア) 五寸釘のペーパーナイフづくり体験

場 所： たたら鍛冶工房

期 間： 平成30年4月～平成31年3月

参加者： 161名

体験料： 800円、2,500円

イ) 出張鍛冶体験

場 所： 菅谷たたら山内元小屋、道の駅たたらば壱番地、雲南市吉田総合センター、雲南市立大東中学校

実施日： 4月8日、5月3日、10月28日、2月28日～3月1日

参加者： 112名

体験料： 800円

②鉄・体感イベント

ア) たたら芽吹きまつり

今年度は実施しなかった。

イ) 情報発信

高速バスの背面広告、Facebook、ホームページでの情報発信

3) 公開展示施設の運営と活用

公開展示施設の管理運営と同施設における企画展を実施した。

①企画展の実施

ア) 出雲の医家

場所： 鉄の歴史博物館

期日： 3月27日(火)～5月6日(日)

内容： たたら製鉄業に医療面からサポートした常松家をはじめ、大森家、渡部家などの医家について紹介。

イ) 第二次世界大戦とたたら製鉄 出雲製鋼株式会社

場所： 鉄の未来科学館

期日： 7月16日(金)～12月2日(水)

内容： 菅谷たたら山内総合文化調査の中間報告として、出雲製鋼株式会社の関連資料から第二次世界大戦中のたたら操業がどのようなものだったのか紹介。

ウ) 菅谷たたら山内の記憶

場所： 鉄の歴史博物館

期日： 10月8日(祝)～3月3日(日)

内容： 明治150年を記念し、鉄の未来科学館で開催中の企画展「第二次世界大戦とたたら製鉄―出雲製鋼株式会社―」とともに、これまであまり照射されてこなかった「たたら近代」を紹介。

②イベントの開催

鉄の歴史村で女子旅 SLOW

場所： 菅谷たたら山内

期日： 11 月 11 日（日）

内容： 出張カフェ、椿油でハンドマッサージ、たたらゴ布林づくり

③調査事業

ア) 菅谷たたら山内総合文化調査

菅谷たたら山内に現存する多種多様な山内遺産を、歴史遺産・生活遺産・集落遺産という遺産群として設定し、歴史文化を明確化するために現地調査を行うことによって、鉄文化に関する学術研究を進め、今後の公開展示施設の管理運営に役立てる。

イ) 雲南市吉田町の民俗芸能調査

雲南市吉田町の鍛冶屋唄やたたら唄、山伏踊りなど個々に現存する民俗芸能について調査・把握し、公開展示施設の運営に役立てる。

ウ) 菅谷たたら山内に生息するオオサンショウウオの保護活動

日本列島以西のたたら場ではオオサンショウウオが多く分布しているが、近年、その生息環境の変化が懸念される。オオサンショウウオに関する調査や勉強会を実施し、保護活動を推進するとともに、公開展示施設における展示に役立てる。

④委託管理業務

ア) 菅谷たたら山内及び周辺施設

イ) 鉄の歴史博物館

ウ) 鉄の未来科学館

エ) 地域特産品処理加工施設

2. 博物館等公開展示施設における商品の販売（収益事業）

1) オリジナル商品の開発、販売

ア) 和鋼商品（ストラップ、鉾ちゃん、鉾ボトル）

イ) 「菅谷たたらとカツラの木」商品（ポストカード、クリアファイル、小風呂敷）

2) 委託商品販売

ア) 刃物

イ) 土産物

ウ) 書籍

3. 管理部門

1) 賛助会員の確保と普及活動

ア) 来館者、体験事業・フォーラム参加者等への働きかけ

イ) ホームページ、賛助会紙での事業のPR

ウ) 賛助会紙「たたらの里山だより」の発行

2) 理事会の開催

開催日：平成 30 年 6 月 2 日、6 月 17 日、平成 31 年 2 月 3 日、3 月 2 日

3) 評議員会の開催

開催日：平成 30 年 6 月 17 日、平成 31 年 3 月 17 日